

2 経管栄養関係の事例 ～注入時間について～

発生時の状況と経過

- ・胃ろうからの水分注入があり、注入間隔を1時間30分空ける必要がある生徒。
10分早い1時間20分の間隔で注入してしまったことに気づいた。
(いつもは、一回目の水分を9時に注入、二回目を10時30分に注入していた)
担任より、運動会の練習があるため注入時間を早めてほしいと依頼があった。

発生時の対応と処置

- ・注入後に10分早く注入したことに気づいた。
- ・担任に報告し、保護者へ連絡。謝罪し、保護者からは吐気症状なければ問題ないと返事があった。

考えられる原因や背景

- ・注入時間の間隔は問題ないと過信してしまった。
- ・次の活動時間に間に合うように注入をしなければという気持ちの焦りもあった。

再発防止に向けた対策・改善点

- ・業務内容に変更があったときは、複数で確認する。
- ・いつもと異なる時間の時は、時間を逆算し、注入時間のスケジュールを複数のスタッフで確認する。

ポイント！

- 思い込みと察することはどんな場面でも事故につながります。二重チェックをしましょう。
- 変更点がある場合は、変更点を書いた張り紙をするなどの工夫をしましょう。